



令和 8 年 9 月号
編集発行人
京都市亀岡市内丸町 15
亀岡市立亀岡小学校
中舎 ゆう子
印刷所 株式会社 天声

一学期のスタートにあたって



学校長 中舎 ゆう子

長い夏休みが終わり、二学期になりました。今年の夏も大変暑く、まだこの猛暑日は、しばらく続くと思われるかもしれません。

二学期には運動会を初め様々な行事や全校児童で制作したランタン等を展示する京都丹波みどりの里まつり（全国都市緑化フェア（京都丹波））があります。亀岡市では、会場が二ヶ所ありますが、亀岡保津川公園および周辺は校区でもあり、身近な所で、自然景観やアートが楽しめる機会になるのではないかと考えています。

さて、日本の言葉に「おかげさま」という言葉があります。「おかげさま」を英語の辞書で調べると「Thank you」となっています。日本語の「おかげさま」は、「ありがとう」だけの意味ではなく、久しぶりに会った人に「お元気ですか」と聞くと、「おかげさ

まで」と答えられることがあります。

その人には久しぶりに会ったのですから、会わなかった間に何かしてもらったわけではありません。では、元気でいられたのはと考えてみると・・・全てのこのおかげではないかなと思います。

例えば、山のおかげで川ができて、川のおかげで水が飲めて、魚が食べられます。また、太陽のおかげで植物が育って、植物のおかげで空気ができて、私たちは息が吸えます。全てのものが何かにつながっているのです。山も海も風も雲も隣にいる友だちも、全てのものは私たちとつながっています。なので全てのものに感謝して生きてきた中で作られた日本語は、感謝の心が込められた特別な言葉だと思っています。

これからも、感謝の気持ちをもって

9月行事予定表

日	曜	学 校 行 事
1	火	短縮4校時(12:00下校)
2	水	全校4校時(13:10下校) 給食開始
3	木	1・2年4校時(13:10下校) 3～6年5校時(14:25下校) エコラフティング(4年)①～④
4	金	1・2年4校時(13:10下校) 3～6年通常校時開始
5	土	
6	日	
7	月	1・2年4校時(13:10下校) 児童委員会Ⅳ⑥
8	火	1・2年4校時(13:10下校)
9	水	1・2年通常校時開始 かめのこトーク⑤
10	木	フッ化物洗口(2学期開始)
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	クラブⅣ⑥
15	火	
16	水	
17	木	フッ化物洗口
18	金	ワックスがけ
19	土	
20	日	敬老の集い(3年生有志)
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日 全校登校日(緑化フェア)
24	木	
25	金	代休日
26	土	
27	日	
28	月	運動会プロジェクト委員会⑥ 色別集会Ⅰ(昼休み～)
29	火	
30	水	陸上交歓記録会(5・6年)

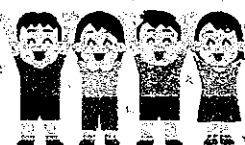
図書ボランティア募集！

亀岡小学校では、図書ボランティアを募集しています。

興味のある方は、

学校へのお問い合わせを
電話(22-10155)
FAX(22-10281)

過ごせる学校に子ども達と共にしていきたいと思います。よろしくお願いします。



10月の主な行事

- 1日(木) 運動会予行練習 フッ化物洗口
- 5日(月) 運動会プロジェクト委員会⑥
- 7日(水) 色別集会Ⅱ(昼休み～)
- 8日(木) フッ化物洗口
- 9日(金) 運動会前日準備 1～4年4校時(13:10下校)
5・6年5校時(14:35下校)
- 10日(土) 運動会
- 12日(月) スポーツの日
- 13日(火) 運動会代休日
- 14日(水) 全校4校時(13:10下校)
- 15日(木) フッ化物洗口
- 16日(金) PTA文化鑑賞会
- 19日(月) クラブⅤ⑥
- 22日(木) フッ化物洗口
- 24日(土) 亀岡祭前日
- 25日(日) 亀岡祭
- 26日(月) 児童委員会Ⅴ⑥
- 28日(水) 全校集会Ⅲ①
- 29日(木) フッ化物洗口 亀岡中学校説明会

一がつきにがんばったこととや
できるようになったこと

一年

こくごをがんばりました。そうじで
ぴかぴかになるまでがんばりました。
につちよくのしごとががんばりました。

一年

たいいくのてつぼうのこうもりをが
んばりました。こくごのべんきょうも
がんばりました。

一年

せんせいのおはなしをききました。
さんすうのたしざんもがんばりました。

一年

きゆうじよくのぎゆうにゆうをのむ
ことががてだつたけれど、のめるよ
うになりました。

一年

さんすうでたしざんやひきざんがで
きるようになんばりました。たいいく
のこおりおにでじようずにげられる
ようになりました。

一年

ふわふわことばをつかえるようにな
りました。なぜいえるようになったか
という、ふわふわことばのはなしを
したからです。ふわふわことばをつか
うようにきをつけました。

一年

てつぼうにがてだつたけれど、うま
くできるようになりました。なぜでき
るようになったかという、いえでれ
んしゅうしたからです。できるように

なつてうれしかったです。

夏がいつぱい 夏だとかん
じること

二年

ぼくは、一年生の時に夏まつりに行
きました。ばしよは、かめおか小学校
です。売っていたのはポテトとたこや
きとくじ引きなどほかにもありました。
道で友だちがいました。今年も行きた
いです。

二年

ぼくは、学校でとれたオクラを家に
持って帰って、おゆでゆがいてお姉ちゃん
と食べました。そしたらお姉ちゃん
とぼくは、「おいしい。」と言いました。
一本だけだったので、「もう一本ほし
かったな。」と思いました。つぎは、お
いしいオクラを家ぞくと食べたいです。

二年

ぼくはかめおかプールに行つてあそ
びました。一番すきなところはながれ
るプールです。りゆうは、ながれて気
持ちよくて、リラックスできて、スピー
ドがすごいからすきです。

二年

ぼくが夏だなくかんじたものはク
ワガタです。クワガタを見たり、さわつ
たりしていると、夏が来たと思います。
よるにはクワガタをさがしに行つたり
するのめたのしいし、夏だなぁと思ひ
ます。

二年

ぼくが夏だと思うのは、まつりです。
りゆうは、よるだと夏みたいだからで

す。だからまつりをえらびました。ま

つりはいろんなものがあります。ヨー
ヨー、おめん、しゃてき、スパーポー
ル、水風せん、き

んぎょすくい、た
こやき、りんごあ
めです。みなさ
んも、ぜひまつり
に夏休みに行つ
てください。



二年

ぼくは夏にかきこおりを食べました。
シロップは「ブルーハワイ」にしまし
た。とてもおいしかったです。こおり
がめちやくちやつめたかったです。か
きこおりがつくれたおかげは、かきこ
おりをつくるきかいです。お気に入り
のスパーンで食べました。さむくなつ
たから、食べおわつたらふとんをし
てねつころがりました。とてもおいし
いかきこおりでした。

一学期を振り返つて

三年

わたしが一学期にがんばったことは、
音楽です。きれいにリコーダーをふけ
るようになんばりました。

二学期は、にが手なこともあきらめ
ずにがんばって、みんなと楽しくすご
したいと思ひます。

三年

ぼくが一学期にがんばったことは、
算数です。かけ算がむずかしかったけ
ど、あきらめずにがんばりました。
二学期は、国語のべん強と早ね早お
きをがんばりたいです。

三年

ぼくが一学期にがんばったことは、
算数と理科と体育です。体育では、
キックベースボールでチームが勝つた。
ように大きな声を出してがんばりまし
た。

二学期は、国語と音楽をがんばりた
いです。なぜかという、にが手だか
らです。

生活は、早ね早おきをがんばりたい
です。なぜかという、自分でおきら
れていないと思うからです。

三年

ぼくが一学期にがんばったことは、
理科のかんさつです。そだてているホ
ウセンカの色や形をよく見て、絵をか
くことをがんばりました。

二学期は、算数でいろいろな計算を
がんばります。早ね、早おきをがんば
ります。

三年

ぼくは、一学期に算数をがんばりま
した。「かけ算」は、さいしよの計算の
仕方よりかんたんな仕方を見つけて、
「わり算」ももつとはやく答えを出せる
ようになりました。

二学期は、字をていねいに書いて、
「たし算」「ひき算」「かけ算」「わり算」
の四つの計算では、はやく答えを出せ
るようになんばりたいです。登校はん
での集合時こく、出発時こくをまもれ
るようになりたいです。

三年

一学期の国語では、漢字をていねい
に書くのをがんばりました。算数では、
暗算で頭の中で計算するのをがんばり
ました。外国語活動では、かんたんな

えい語をおぼえるのをがんばりました。二学きは、計算をがんばるのと、漢字をていねいに書くのをがんばります。そして、すききらいをへらして、食べられる物をふやすようにがんばります。

一学期をふり返って、どんな成長・学びがあったか

四年

給食がたくさん食べられるようになったし、好き嫌いの少なくなりました。プールでは、ビート板で泳げるようになって少しプールの好きになりました。社会では、ノートにたくさん



を書けるのが好きになりました。お楽しみ会の遊びを決めるときは、前よりも話し合いの仕方が良くなったと思います。もつとクラスみんな協力してレベルアップしていきたいです。二学期の目標は、鉄棒の技が一つでもできるようにしたいです。また、算数や国語、他の勉強もできるようにしたいです。

四年

ぼくは、一学期を終えて成長したことが四つあります。一つ目は、手をあげられるようになったことです。どうしてできるようになったかというところから「自分も勇気をだして手をあげよう。」と思えたからです。二つ目は、周りを見て注意をできるようにしたことです。クラスの中心になっていて、人が注意して連動していついていて、

自分もつづいていきたいと思ったからです。全員がこれから連動していったらいいなと思います。三つ目は、先生の話を聞けるようになりました。これまでと同じではいけないし、三年の三学期にできるようになったことをつづけたいと思ったからです。もつと先生の話をしっかりと聞いてみんなからも「すごい。」と思われるようにがんばります。四つ目は、当たり前に「ありがとう。」が言えるようになったことです。これまでプリントをもらうのも当たり前だと思っていたけど、今はしっかりと伝えられるようになりました。

二学期 UPDATE したこと

五年

私が一学期アップデートできたことは二つあります。一つ目は「礼儀（挨拶）」です。まず、昨年から比べても礼儀正しくできるようになったと思います。私は一学期最初に目標を自分の中であらわした時に礼儀を頑張りたいと思っていました。私のその礼儀を大切にするとという目標を達成するために頑張っていたことが二つありました。一つは、クラス一人一人に自分から挨拶をするということです。一学期の最初の方は挨拶を自分からすることができなくて、友達に「おはよう！」と言ってくれていました。その時私は正直、最初に決めた目標を忘れていたと気づきました。私は「礼儀」はとても大きなことだと思っています。まずはいつも沢山喋っている友達や少し勇気を出してみようという一学期の中間ぐらいから思いつき始め、野外学習の時から挨拶をいろいろな場面で頑張ろうと思いました。私は

その後いつも私に挨拶してくれる友達に自分から少しずつ「〇〇おはよう」と言えるようになりました。しかし、一学期後半から始まった学校全体の挨拶運動（活動）では全然挨拶ができていません。私はクラスにいる挨拶名人の人に頼っていた部分があるのかもしれないと思います。それだと、先生や他の学年からの印象も少しづつ悪い方になってしまっているのではないかと思います。だから二学期はもうないかもしれないけど、いつも校門でいてくださる先生方に自分から挨拶ができるようになることが礼儀（挨拶）面での目標です。

二つめにアップ



デートできたことは「自主勉強」です。一学期中間から後半にかけて自主勉強マラソンという取組をクラスで行ったことで、私は自主勉強に熱心に取り組むようになりました。でも私は自主勉強って何のためにやるのかを考えた時に「〇〇のテストがあるから」「〇〇点取りたいし自主勉強やる！」という気持ちが大きかったです。でも私は最初自主勉強をしてテストを受けた時にあまり点数につながらなかったです。やり方が自分に合っていないからだったかと思いましたが、その後もそのやり方だとすると点数につながりませんでした。私は結局結果につながると楽しいと思ひ頑張り続けるかなと思ひました。さらに図や絵を描くことによって理解がしやすくなりました。そして点数が結果につながり楽しくなりました。だから二学期からは自分に合ったやり方を探して、

テストだけでなくいろいろなことに繋がるように頑張りたいと思いました。

五年

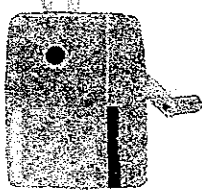
僕が一学期頑張ったことは、三つあります。

一つ目は、忘れ物をしないようにすることです。理由は、僕は忘れ物を結構しやすいからです。僕は最近忘れ物は減ってきたのですが、まだ完全になくなっていないという訳ではないので、減らしていきたいです。忘れ物を0にしたいので、いくつか忘れなための方法を考えました。①よく見るところに書く。これが一番確実な方法で、よく見るものにメモしておくことで、それで「あー」と思いつくことができます。②とにかく暗唱して覚えることです。これもかなり確実ですが、だいが繰り返さないで忘れてしまうので、努力を考慮すると①の方がいいかなと思います。

二つ目は、真面目に先生の話を聞くことです。人の話を聞くのは得意で、いい所を授業で友達とお互いに伝え合った時も「聞き方が上手」は結構友達から書かれていました。でも、得意だからこそ頑張る必要があると思います。何故なら、「僕はこれが得意だからこれ以上は何も練習しなくていいや」などと思ってしまうことを伸ばさずにいると、いつか苦手なものになってしまふからです。これは、五年二組は人の良いところをどんどん吸収して成長していくクラスなので、良い所をどんどん盗まれているっていいからです。だから、人が盗めない境地まで得意なことを伸ばして、別の得意なことを伸ばしていけたらいいなと思います。（例えば、リアクションや拍手、頷きな

どです。」

三つ目は、文字を気づいたときは絶対丁寧に書くということ。理由は、ほかの人たちは意識せずとも綺麗な字をかけているのに、僕だけ汚い字で書いていたら僕が恥ずかしいからです。そして、最終目標は「綺麗な字で、且つたくさんノートに意見を書く」ということです。中学校はシャーペンを使ってもいいからノートにたくさん字を書きやすいけど、鉛筆は丸くなったから削らなければいけないので、その分時間をロスしてしまいます。「ほかの鉛筆使ったらいじゃん」と思うかもしれませんが、五分休み以内に削れるかどうかが問題です。僕は四年生の時全て鉛筆を丸くしてしまつて、教卓のIHJ鉛筆削りみたいになつて削つてみたところ、全く間に合いませんでした。僕の手際が悪かったのかも知れませんが、そういう所を意識しながら、鉛筆を削るスピードも速めていけたら良いと思います。教卓においてある鉛筆削りなら、「回す」のではなく、「上下させる」というのを意識した方が早くなって、僕の持っている公文の鉛筆削りなら、鉛筆と鉛筆削りを同時に反対方向に回すとめっちゃ早く削れます。なので、この方法を多用して行きたいです。



一学期をふり返って

六年

私が一学期で成長したと感ずることいくつかあります。一つ目は、声かけを積極的にしたこ

とです。六年生としてよくないことをしている人を見かけたら、優しく「それはやめた方がいいんじゃない」と声かけできました。六年生だけでなくほかの学年にも声かけができました。やっぱり声かけをする前とした後は行動が変わります。五年生のころは、あまり自分から声かけをできなかった。できたとしても小さな声でした。でも、六年生になつて亀小のリーダーになつたからには学校の印象をもっとよくしたいと思い、積極的に行動しました。これは、この一年間でとても大切だと思うので、これからも続けたいです。

二つ目は、ポジティブな言葉が増えたことです。前までは、だれかが失敗したり、まちがったりとネガティブな言葉で反応することがありました。六年生になつてからは先生からの話でポジティブに反応することを意識しました。少し意識するだけで、相手も自分もいやな気持ちにならないのが最大のメリットだと思います。これを六年生が全校に広め、全校が意識すると「ポジティブ亀小」になれると思います。

この二つは一学期で身につけた力なので、二学期にも生かして、これまでの六年生を上回るような力をつけて、だれが見ても最高学年と思うようになりたいです。

一学期をふり返って

六年

私が六年生になつてから成長したと思うことは、チャレンジができるようになったことです。特に頑張ったのは、授業での発表です。私ははじめ、手を

挙げることはできましたが、自分の考えがなかなか分かんなくて、「まあいいか」という気持ちで済ませてしまっていました。でも、みんなが挙手チャレンジで頑張っているところを見て、「わたしも頑張つてチャレンジしよう」という気持ちが出てきました。そして、外国語の授業でみんなの前で発表をする機会があったとき、私は手を挙げるのができました。少し恥ずかしかったけど、みんなが温かい目で見てくれたので、発表っていいことだなと気づきました。それから、自分からチャレンジすることが増え、成長したと感ずるようになりました。

私が、二学期に頑張りたいことは、「自分のことは自分ですること」です。二学期は、行事が多く、忙しくなる時期だと思っています。自分のことはきちんとして自分の力でやり切り、心に余裕をもつて過ごすことができと思うので、二学期はこの目標をもって頑張りたいと思います。

やりたいことができた！を増やすために

通級指導教室 柏木 智苗美

学校の中では、日々様々な児童が様々な学習や遊びをしています。様々な児童という面では、人それぞれ違う感じ方、考え方があることを知り、お互いに認め合う力をつけること、という願いをもつて、教育活動に取り組んでいます。本校では、さくら学級、通級指導教室、ほっとルームについての理解教育を全校児童に向けて行い、自己理解や他者理解を深めることを目指しています。

様々な学習や遊びという面では、座つ

て学ぶ活動だけでなく、絵を描くことや縄跳びなど多岐にわたる活動が行われています。その中で友達や学校の仲間と関わり、子どもにとつての「やってみよう」、「できるよ」になりたい、友達や上級生が縄跳びでかっこいい技を披露しているのを見て、自分もやってみようと思ふことが考えられます。子ども自身がやりたい気持ちを持ち、それを叶えていくことは、自己肯定感を育むことや、将来どのような自分になっていきたいのかイメージし、実現に向けて頑張ろうとする意欲につながるため、養っていききたい点です。

亀岡小学校には、通級指導教室があります。通級指導教室とは、学校の中に設けられた専門の教育を行う場であると考えられています。通常の学級の子どもたちを対象として設置されている通級指導教室は、支え合つて生きることのできる人材を育成する、インクルーシブ教育システムの基盤として、必要不可欠なものとなつてきています。

本校では、通級指導教室は「ことばの教室」と呼ばれています。「ことば」とありますが、言語の課題だけでなく、学び方やコミュニケーションの方法、体の使い方など、多様なニーズに対応した指導を行っています。苦手と上手く付き合ひ、得意を伸ばし、自分に合った方法を見つける。そして、「やりたい」、「できた」を増やし自己実現につなげる、その手助けをしたいと思います。ご家庭でも、お子様のやりたい気持ちを可能な限り尊重し、励ましの言葉をかけていただけたらとありがたいです。もし、学習や生活のことでお気になる点がありましたら、担任や通級指導教室担当までお声かけください。